

彙報

△二〇一五年度、立教大学日本文学会委員

は、左記の通りになりました。「順不同」

会長

石川巧

教員委員

石川巧（会長・「立教大学日本文学」

編集）、沖森卓也（春学期・会計）、加

藤陸、金子明雄、小嶋菜温子（「日文

ニュース」編集）、鈴木彰（事務局長）、

水谷隆之（秋学期・会計）

卒業生委員

阿久津智、川村裕子、小森潔、瀧田浩、

出口久徳（監査）、宮川健郎、安原眞琴

院生委員

事務担当…小林恭平（チーフ）

波木井優子、四方舞、川渕琴、根来

由紀、西塔優里、高橋早紀、古居歩

編集担当…泉屋咲月（チーフ）

仲井眞建一、許斐由紀子、小泉奈生

子、大貫真実、大澤奈穂、竹嶋穂香、

加藤健一郎、相馬真理子、加藤明日

菜、永盛春奈、李愛理、若松郁、楊

坦、益田彩希、泉溪春、飯塚菜月

△二〇一五年度 立教大学日本文学会

日時…二〇一五年七月四日（土）

午後一三時～一八時

会場…立教大学池袋キャンパス

五号館（五二二教室）

【研究発表・第1部】

(1) 「認識」という漢語の考察

肖江楽（後期課程一年）

(2) 「源氏物語」における「ことづく

——その機能と意味について

露谷雄輝（後期課程一年）

(3) 梅崎春生「飢えの季節」からみる飢

餓とヤミ市の時代

渡部裕太（後期課程一年）

(4) 崎山多美「水上往還」論

仲井眞建一（後期課程一年）

【研究発表・第2部】

〈中世日本紀〉研究の射程

原克昭（本学助教）

島崎藤村「新生」の問題圏

——スキヤンダルと文学の関値

金子明雄（本学教授）

【講演】

シマコトバでカチャヤシー

崎山多美（作家）

△今号より「投稿規定」の一部が改訂されております。論文等の投稿を希望される方は「投稿規定」の詳細をお読みいただければ幸いです。

△立教大学文学部日本文学専修（旧日本文学科）は二〇一六年度に創設六〇年の節目を迎えます。来年の様々な企画に向けて、現在、準備を開始したところです。

△二〇一五年三月をもって藤井淑禎教授がご定年を迎えられました。二〇一五年四月からは新たに金子明雄教授と原克昭助教が赴任され、日本文学専修は九名の教員体制となりました。